

平成29年11月15日

輸送動向について（平成29年10月分）

1. 輸送概況

今月は、台風21号接近の影響等により、月全体で高速貨235本、専貨16本が運休となった（前年は、高速貨20本が運休）。台風18号の影響で不通となっている日豊線については、トラックによる代行輸送を実施している。

コンテナについては、ドライバー不足を背景に鉄道へのシフトが続く積合せ貨物が、東海・九州地区間や関西・広島地区発関東地区向けの輸送を中心に好調となったことに加え、自動車部品も東海地区発東北地区向けの輸送が堅調に推移し、前年を上回った。

一方、紙・パルプは印刷紙・コート紙の需要低迷に伴い、大幅に減送した。また、農産品・青果物は、北海道産玉葱の出荷調整に加えて、北海道・東北産民間流通米が8月の日照不足による生育遅れが影響し、前年を下回った。更には食料工業品が気温低下に伴って清涼飲料水の出荷等が落ち込んだ。その結果、コンテナ全体では前年比99.9%となった。

車扱については、石油が配送圏の見直しに伴い鉄道へのシフトが進んだことから、車扱全体では前年比105.4%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比101.3%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、％）

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,963	1,966	99.9%	12,958	12,538	103.4%
車 扱	748	710	105.4%	4,709	4,619	102.0%
合 計	2,711	2,675	101.3%	17,668	17,157	103.0%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、％）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	233	240	-7	96.8%
	化学工業品	182	186	-4	97.9%
	化学薬品	130	128	2	101.9%
	食料工業品	302	308	-6	98.0%
	紙・パルプ	253	268	-15	94.4%
	他工業品	135	133	2	101.1%
	積合せ貨物	249	236	13	105.5%
	自動車部品	74	65	9	114.0%
	家電・情報機器	36	37	-1	98.6%
	エコ関連物資	40	37	3	106.5%
	その他	330	328	2	100.6%
	コンテナ計	1,963	1,966	-3	99.9%
車 扱	石油	478	450	28	106.3%
	セメント・石灰石	129	123	6	105.1%
	車 両	74	71	3	104.7%
	その他	66	66	0	100.3%
	車 扱 計	748	710	38	105.4%
合 計	合 計	2,711	2,675	36	101.3%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）